

5月25日（月）朝礼にて 校長講話

今、たくさんの賞状を陸上部の皆さんに渡すことができました。また、みなさんに紹介することができました。先日の壮行会でもお話ししましたが、夏の地区大会の先陣を見事に切ってくれたと思います。先生も、陸上大会の会場に行って、間近にその様子を見てきました。今日は、その活躍の様子を話そうかと思いましたが、ちょっと違う視点でお話をしようと思います。

陸上大会の開会式で審判長注意というものがあります。陸上では、本校の高木先生が務めてくれています。そのお話の中で、一番強く言ってみえたのは、陸上の技術的なことではなく、招集時刻に絶対に遅れないようにということでした。他の種目でも、どこどこ中学校対弥富中学校の試合の開始時刻が決められています。その試合の開始時刻の前に決められた場所なり、本部なりに集まるように決められています。もちろん、陸上も同じで、いくら一生懸命練習してきても、その時刻に遅れたら走らなくても失格になるということでした。3年生なら2年以上練習してきたことが、わずか1分、1秒遅れれば失格を宣告されてしまいます。時間を守るということは、厳しいものだと感じました。

奇しくも来週月曜日から3年生は修学旅行に、2年生は職場体験学習に出かけます。学校から離れたところで生活する皆さんにとって、時間を守るということについて、部活動だけでなく、とても大切なことだと学んできてほしいと思います。たった一人の子が発車時刻に遅れれば列車は行ってしまいグループみんなが困ってしまいます。事業所に行く時間が遅れれば、事業所にも迷惑をかけますし、利用されるお客様にも迷惑をおかけします。部活動をはじめ、いろいろな活動の場面で時間を意識するいいチャンスだと思います。